

Q1業績が想定以上の進捗、Q2と通期ガイダンスを上方修正

Q1 Flash



サマリー: 8月12日(水)の引け後に2027/3期Q1の決算が発表された。売上高、営業利益、経常利益は2桁の増収増益となり、Q1業績では過去最高を更新した。親会社株主に帰属する当期純利益(以下、当期純利益)は前年同期比4.7%減益で、一時的な税金費用の先行発生が要因である。売上高の上振れに加え、採用費などの販管費執行の下期への期ズレ、人件費や拠点関連費用などの下振れにより、Q1の営業利益は960百万円(同55.1%増)に拡大した。この営業利益は上期の期初予想営業利益900百万円を上回る水準である。Q1のNon-GAAPベースの償却前営業利益は1,570百万円(同101.9%増)、のれん償却前当期純利益は904百万円(同107.0%増)となった。同社は、2027/3期Q2および通期業績予想の上方修正を行った。また、同社株が、「JPX 日経中小型株指数」の2026年度(2026年8月31日~2027年8月30日)の構成銘柄として選定されたことも決算発表と合わせて公表した。

■ 2027/3期Q1の主要子会社業績

コプロコンストラクションは、売上高が8,346百万円(同12.9%増)、営業利益は1,091百万円(同13.8%増)となった。稼働数および売上PHの増加が収益に寄与した。トライトエンジニアリングは、売上高が4,892百万円(買収による子会社化で増減比はNA)、営業利益は239百万円(買収による子会社化で増減比はNA)となった。のれん償却費531百万円を吸収して、営業利益を確保した。コプロテクノロジーは、売上高が700百万円(同22.6%減)、営業損失が8百万円(前年同期は3百万円の営業損失)であった。2026年3月に実施したIT技術者派遣事業の売却の影響を受けて、コプロテクノロジーの業績は低下した。

■ 2027/3期Q2および通期業績を上方修正

Q1の営業利益が期初の営業利益を超過したことに加えて、足元の好調な業績進捗を踏まえ、Q2および通期業績を上方修正した。

(Q2業績) 売上高27,500百万円(従来)→28,150百万円(新)、営業利益900百万円(従来)→1,770百万円(新)。経常利益以下も上方修正されている。

(通期) 売上高57,000百万円(従来)→57,650百万円(新)、営業利益3,000百万円(従来)→3,875百万円(新)。経常利益以下も上方修正されている。SIRでは取材後にフォローアップレポートを発行する予定である。

百万円、%、円	売上高	YoY	営業利益	YoY	経常利益	YoY	当期純利益	YoY	EPS ⁽¹⁾	DPS ⁽¹⁾
2024/3期	24,098	28.2	2,141	62.0	2,211	67.0	1,463	69.3	37.20	25.50
2025/3期	30,015	24.6	2,763	29.1	2,784	25.9	1,820	24.4	47.09	30.00
2026/3期	36,661	22.1	3,632	31.4	3,665	31.6	2,880	58.2	74.64	40.00
2027/3期(会予)	57,650	57.2	3,875	6.7	3,426	-6.5	1,660	-42.4	43.31	45.00
2026/3 Q1	8,297	20.8	619	48.0	614	42.0	379	42.9	9.86	-
2027/3 Q1	13,939	68	960	55.1	840	36.8	362	-4.7	9.39	-
2026/3 Q2	16,980	19.3	1,481	19.7	1,480	17.7	935	17.3	24.27	15.00
2027/3 Q2(会予)	28,150	65.8	1,770	19.5	1,536	3.8	710	-24.1	18.52	15.00

出所: 同社決算短信よりSIR作成。SIRでの財務データ処理は短信規定と異なるため記載数字は会社資料と相違することがある。(1): 株式分割を反映した遡及修正後のEPSとDPSを記載している。EPSは潜在株式調整後の数値。

中嶋 俊彦
シニアアナリスト
research@sessapartners.co.jp



ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp